

第18回船橋東ライオンズクラブ旗少年野球大会

実施要領

参加8チーム

と き 2010年7月31日(土)～8月1日(日)

ところ 船橋市「高瀬グラウンド」(7/31)・「豊富グラウンド」(8/1)

主 催 船橋東ライオンズクラブ旗少年野球大会実行委員会

後 援 船橋東ライオンズクラブ
船橋市教育委員会
船橋市議会
大穴スポーツクラブ

第18回船橋東ライオンズクラブ旗少年野球大会実行委員

大会会長	廣澤信司（船橋東ライオンズクラブ会長）	
実行委員長	石井禎行（大穴）	
実行委員	鈴木和夫（三田）	
	岡本寿夫（習台）	
	川口治美（友和）	
	飯島秀人（北部）	
大会事務局	大川輝男（大穴）	
	原田弘巳（大穴）	
	飴谷純忠（三田）	
	村上友康（習台）	
	池内正明（友和）	
	池谷光司（北部）	
会計	大川輝男（大穴）	
審判長	川口治美（友和）	
副審判長	井上利也（三田）	
審判	村山一雄（三田）	
	和田智好（習台）	
	成瀬富美雄（友和）	
	斎藤義巳（北部）	
ウグイス嬢	開会式・決勝戦・閉会式	（北部地区）
監督		
北部地区	二和タイガース	石野晴士
	大穴ペガサス	官野智則
三田地区	三山パワーズ	古澤俊美
	三山スワローズ	高橋岩男
習志野台連盟	習志野台ワンパクズ	野田昌克
	習志野台スターズ	清水保彦
友和連盟	ツインドルフィンズ	門間祐二
	薬円台リトルスター	原田寛

大会式典式次第

開会式
(高瀬グラウンド)
7月31日(土) 9:00
集合 役員及び各チーム3名 7:30
選手 8:30

開会式
(豊富グラウンド)
8月1日(日) 15:30
集合 役員 14:30
選手 15:00

(注) グラウンド整備(7:30集合)
準決勝担当審判団及び
準決勝出場各チーム2名

(総合進行案内 北部地区)

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 役員、監督整列 | 1. 選手、役員、監督整列 |
| 2. 選手入場 | 2. 成績発表(友和 川口) |
| 3. 優勝旗返還
・習志野台ワンパクス | 3. 表彰 |
| 4. 大会会長挨拶
・廣澤信司 船橋東ライオンズクラブ会長 | 4. 大会会長挨拶・廣澤信司会長 |
| 5. 実行委員長挨拶
・石井禎行 大穴少年野球連盟会長 | 5. 実行委員長挨拶・石井(大穴) |
| 6. 来賓挨拶 | 6. 選手退場 |
| 7. 審判長注意(友和 川口) | |
| 8. 選手宣誓(習志野台ワンパクス 橋本佳虎(ケイゴ)君) | |
| 9. 選手退場 | |
| 10. 始球式(A面) | |

(お願い)

開会式前の球場整備及び閉会式後の後片付けに各チーム3名のお手伝いをお願いいたします。

(表彰内容)

(チーム賞)

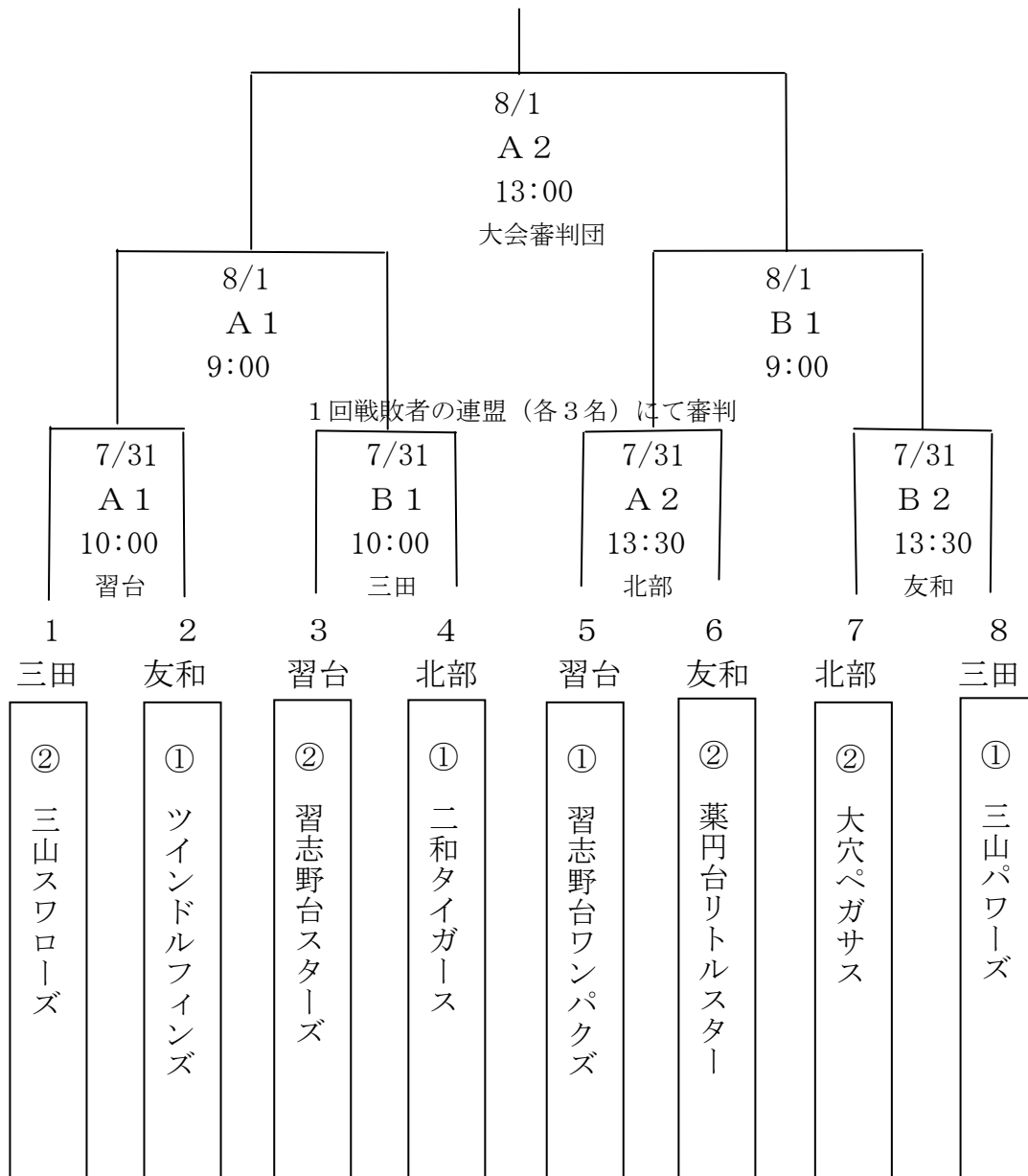
優勝	表彰状・優勝旗	市長杯	ライオンズ杯	ライオンズ楯 個人メダル	参加賞
準優勝	表彰状	市議会議長トロフィー		ライオンズ楯 個人メダル	参加賞
3位(2チーム)	表彰状	教育長トロフィー		ライオンズ楯	参加賞
5~8位	参加賞				

(注) 参加賞は「学童部公認軟式用ボール」1ダース

(個人賞)

最高殊勲選手賞	1人	(カップ)
最優秀選手賞	1人	(カップ)
敢闘賞	2人	(カップ)
ホームラン賞		(サインボール)
特別賞	(例)	努力賞、ファインプレー賞、女子選手賞等実行委員による推薦

第18回 船橋東ライオンズクラブ旗少年野球大会及び審判団担当表



開会式入場行進順

1. 習志野台連盟 (同連盟の1番を引いたチームが選手宣誓を行う)
2. 友和連盟
3. 北部地区
4. 三田地区

<開会式> 7月31日（土） 9：00より 高瀬グラウンド（B面使用）

- ◎各チームの選手は8：30迄に集合する。
- ◎各チームプラカード保持者を決める。（プラカードは大会実行委員会にて用意）
- ◎行進順序は、習志野台、友和、北部、三田の各連盟（地区）順に若い番号のチームから行進する。
- ◎入場行進は、1塁側入口から1塁ベース、本塁ベース、3塁ベースと進み、2塁ベース付近から整列足踏みしてラインが出来るまで待つ。（3塁側より整列）ラインが出来、合図とともに投手板付近の定められたラインまで行進する。
- ◎選手以外の整列は、
 - 3塁側 大会役員と船橋東ライオンズクラブおよび来賓の方々
 - I 塁側 監督、コーチ、その他
- ◎選手宣誓は連盟順送りで1番杵チームの選手が行う。（今年は習志野台連盟）
選手宣誓の際には、各チームのプラカード保持者は宣誓する選手の後方に半円にて集まる。
- ◎退場行進はIチームずつ整列場所から1塁ベースに向かい、そこから退場する。

<閉会式> 8月1日（日） 15：30より 豊富グラウンド（A面使用）

- ◎閉会式には負けたチームを含め全チームが参加する。
- ◎各チームの選手は決勝戦終了後直ちに1塁側に集合する。
- ◎行進順序は、優勝、準優勝、3位（2チーム）のチーム、その後に開会式の連盟順に行進する。
- ◎入場行進は開会式と同様に2塁ベースまで進み、整列順は優勝チームを中心に以下左右に交互に整列する。
- ◎表彰されるチーム代表選手及び個人表彰を受ける選手は、発表されたら元気よく、駆け足で中央表彰場所に向う。
- ◎退場行進は成績優秀チームを称えるため、5位以下のチームが一斉にI塁側に退場した後、優勝チームより3塁ベース、本塁ベース、1塁ベース、2塁ベース、3塁ベースの順にグラウンドを一周し、3塁ベンチ前で退場行進終了とする。

各チームは行進練習を、必ず行なって参加して下さい。

第18回 船橋東ライオンズクラブ旗少年野球大会 遵守事項

船橋東ライオンズクラブ旗少年野球大会実行委員会

大会参加費

1チーム 5000円

大会適用規則

2010年公認野球規則、学童ルールを適用する。

但し、選手登録、指導者登録及び一部ルールに関しては船橋東ライオンズクラブ旗少年野球大会実行委員会取決めを採用する。

大会使用球

学童部公認軟式ボール

大会遵守事項

A) 参加選手に関する規定

1. 大会には登録された選手以外は出場できない。
(但し、やむをえない事情により本部が認めた場合は出場可とする)
2. 登録選手は20名以内とする。
3. 指導者のベンチ入りは監督1名、コーチ5名以内とし、選手と同一のユニフォームを着用すること。但しコーチの内3名以内は私服可とする。
4. 登録選手は必ずユニフォームを着用すること。
5. 登録選手は必ず背番号をつけること。番号は他の選手と重複しないこと。
6. 指導者及び選手の金属スパイクの使用は認めない。
7. 投手の変化球投球は認めない。
8. 打者、次打者、ランナー、ランナーコーチャーはヘルメットを着用すること。
9. 捕手はマスク、プロテクター、レガースを必ず着用する。
捕手用のヘルメット着用が望ましい。

B) 大会実施に関する規定

1. 当日雨天等により試合を行なうことが出来ない場合は、大会事務局よりAM7:00に出場チーム責任者に連絡する。
2. 天候等の都合で中止となった試合は日程を変更して行なうか、もしくは抽選にて勝者を決定する。
3. 参加チームの理由による代理チームの出場は認めない。

C) 試合に関する規定

1. 出場チームは試合開始予定時刻の30分前に到着し、大会本部にメンバー表3通を提出すること。大会本部は登録選手との照合を行い、メンバー表を受理する。
2. ベンチは若い番号のチームが1塁側とする。
3. 試合は7イニング、試合時間は1時間45分とし(以内であれば新しいイニングに入ることができる)、それ以後は本大会特別ルールにて勝敗を決する。
コールドゲームは5回終了時点で10点差とする。
4. 決勝戦は1イニングのみ延長戦を行ない、なおかつ決定しない場合は、本大会特別ルールにて勝敗を決する。

(本大会特別ルール)

- ・ 1 死満塁で、継続打者で 1 イニングのみ行う。
 - ・ なおかつ決定しない場合は、抽選とする。
6. 試合中は審判員の判定に従うこと、規則上の疑問点については監督のみ審判員に確認することができる。
 7. ピッチャーの投球回数、投球数には特に制限は設けず、監督一任とする。
 8. チームが守備の時、タイムを要求し選手に指示する場合、監督はファールラインを超えて指示してはならない。
 9. シートロック時を除き、守備交代時の投球練習用キャッチャー及び外野選手の練習相手等グラウンド内は全て選手のみとする。
 10. 試合中の言動は少年らしく活発に攻守の交代は駆け足ですること。
 11. 応援は相手チームを傷つけたり自チームの品位を落とすことなく良識をもって行なうこと。またメガホンの使用は監督のみとする。
大会の雰囲気にもふさわしくない場合は、審判員はそのチームに注意し、なおかつ改まらない場合は、そのチームの試合を中止することもある。
 12. 試合開始後、降雨等の理由により試合続行が不可能になった場合は、5 イニング終了時であれば、その時点で勝敗を決し、5 イニング未满是ノーゲームとする。
 13. 試合運営に関する事で問題が生じた場合は大会実行委員会及び審判部で協議のうえ、決定する。

D) 審判について

1. 1 回戦の審判は組合せにより決められた連盟にて担当する。
球審 (1 名)、塁審 (3 名)、スコアボード、記録係 (2 名) 合計 6 名
2. 2 回戦 (準決勝) の審判員は、1 回戦敗退の 2 連盟より各 3 名を用意し審判に当たる。
3. 審判 (スコアボード係除く) の服装は、ズボンは黒か紺あるいはグレー系の単色、上着は単色系の襟のついたシャツとし、Tシャツは禁止する。靴は野球用シューズ或いはスポーツシューズとする。(スパイク靴は禁止)
4. セカンド審判はクロックワイズ方式 (中に入る) とする。
5. 試合前のシートロックは 7 分間とし、後攻から行う。(本部よりアナウンス)
6. ピッチャーの投球練習は初回 5 球、2 回以降は 3 球とする。
なお、ピッチャー交代時は 4 球とする。
7. 攻守交代を速やかに行うよう両チームに指示する。
8. 豊富グラウンド使用の場合、外野に 6 5 m ラインを引き、フライで直接オーバーした場合にはホームランとし、ゴロ通過の場合には、その時点でボールデットとしツーベースとする。
9. 試合中、判定或いはその他のトラブルが発生した場合には球審を中心に全審判員にてスムーズに処理すること。
(1、2 回戦は A、B 二面使用にて試合を行うので、打球が他の試合に影響を及ぼしたとき等)

E) その他

1. 出場チーム責任者は各参加選手の父兄の同意を得ること。
2. 大会試合中、万一の負傷などの事故に関して応急措置を施すが、以後の治療について主催者はその責を負わない。
3. 各チームは事前に「スポーツ・レクリエーション参加者障害保険」等に参加の上、参加のこと。
4. 試合に必要な交通費、昼食等は各自の負担とする。